

大会名 Competition	2018年度 第69回 秋田県民体育大会バスケットボール競技 兼第73回「福井しあわせ元気国体」秋田県代表スタッフ・選手選考会				
NO.	0 B 2	Year	Month	Day	Time
場所 Place	能代市総合体育館				



チームA 湯沢翔北高校 A 115 ○	<table border="1"> <tr><td>29 1st</td><td>8</td></tr> <tr><td>35 2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>26 3rd</td><td>9</td></tr> <tr><td>25 4th</td><td>15</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	29 1st	8	35 2nd	16	26 3rd	9	25 4th	15	OT		チームB 秋田商業高校 48 ●
29 1st	8											
35 2nd	16											
26 3rd	9											
25 4th	15											
OT												

主審:Referee
 升屋 章 秋田 B
 第1副審:1st Umpire
 三浦 新 秋田 B
 第2副審:2nd Umpire
 梅田 春菜 秋田 B
 テーブルオフィシャル:Table officials
 秋田県立小坂高等学校
 男子バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	安藤 千遥	CAP	12	0	5	2	1	4	×	小玉 凧海	CAP	8	1	2	1	3
5	/	高山 美瑠		11	0	5	1	1	5	×	朝倉 和菜		6	0	3	0	1
6	/	目黒 歩子		19	1	8	0	2	6	×	篠村 美妃		14	0	7	0	2
7		浅利 千		-	-	-	-	-	7		塚本 蘭奈		-	-	-	-	-
8	×	長谷川 美加		10	0	5	0	0	8	×	鎌田 明衣		10	2	2	0	3
9	×	齊藤 可伶		4	0	2	0	0	9	×	児玉 悠芽		8	1	2	1	3
10	×	近藤 萌美		13	2	3	1	2	10		佐藤 未来		-	-	-	-	-
11	×	小野寺 紅美		9	0	4	1	3	11		米澤 菜月		-	-	-	-	-
12	/	高橋 愛		16	2	4	2	1	12		菅原 愛結		-	-	-	-	-
13	/	佐藤 留菜		12	0	6	0	1	13	/	齊藤 真希		2	0	1	0	-
14	/	高橋 真衣		3	1	0	0	0	14		星野 瞳		-	-	-	-	-
15	/	伊藤 杏香		2	0	1	0	1	15		田口 栞		-	-	-	-	-
16	/	伊藤 夏希		4	0	2	0	1	16		三浦 胡桃		-	-	-	-	-
17		齊藤 史果		-	-	-	-	-	17	/	門間 柚結		0	0	0	0	-
				-	-	-	-	-	18	/	渡邊 瑠菜		0	0	0	0	-
				-	-	-	-	-	19		奈良 穂乃香						
				-	-	-	-	-	20		森川 舞子						
				-	-	-	-	-	21		嶋田 葵						
合 計				115	6	45	7	13	合 計				48	4	17	2	12

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

県高校総体を制し、4連覇を目指す湯沢翔北と20年ぶりの優勝を目指す秋田商業の対戦となった。
 第1ピリオド:両チームともハーフマンツーマンディフェンスでスタート。翔北#8長谷川のインターセプトからの速攻が決まり先制。さらに#10近藤の3Pが決まり加点する。対する秋田商業は、#4小玉のドライブや#6篠村のポストプレーで応戦する。その後、翔北は厳しいディフェンスから速攻につなげ得点を重ねる。15対5となった残り3分58秒、秋田商業はタイムアウトをとって流れを変えようとするが、その後も翔北の厳しいディフェンスを攻めあぐね、翔北のペースを崩すことができず、翔北リードの29対8で終了。
 第2ピリオド:翔北#4安藤のドライブが決まる。対する秋田商業は#6篠村のカットインで加点する。翔北はメンバーチェンジを機にオールコートでディフェンスを強める。さらに#6目黒がドライブからの連続得点をする。秋田商業は、#4小玉や#9児玉が果敢にドライブ仕掛けるが、タイトなディフェンスに阻まれる。#8鎌田の3Pで得点するも単発に終わる。翔北は相手のタフショットからリバウンドを確実におさえ、得点につなげ、64対24翔北リードで前半終了。
 第3ピリオド:秋田商業は、#6篠村のポストプレーやリバウンドシュートなどで得点。その後もドライブでインサイドをつくが、タフショットを連発してセカンドチャンスもつかめない。アウトサイドにノーマークをつくり#9児玉の3Pが決まるが、厳しいディフェンスを攻めあぐねてその後の得点が伸びない。対する翔北は、速攻で確実に得点を重ね、90対33と翔北がリードを広げて第3ピリオド終了。
 第4ピリオド:開始早々秋田商業#4小玉の3Pが決まり反撃を開始するが、翔北はベンチメンバーを出場させ、オールコートのディフェンスでプレッシャーをかけ続け、連続得点を許さない。104対40と翔北リードとなった残り5分55秒、秋田商業がタイムアウトをとる。その後#5朝倉のリバウンドシュートや#9児玉の速攻で意地をみせるが、タイトなディフェンスを終始続けた翔北が追撃を許さず、115対48で勝利し、4連覇を達成した。

文責【 工藤 司 】